



登山だより

三月行事日程

一日～七日

聖天秘供(聖天堂)

九日、二十一日、

弁天様御縁日

五日、二十六日

御詠歌勉強会

八日

仏舍利詣り(仏舍利塔)

二十三日

月例写経会

二十八日

奥之院開扉供養

三十一日

高尾山とんとんむかし

「語り部の会」
(十二時半山麓不動院)

三月十日

高尾山火渡り祭

午後一時

山麓祈禱殿大広場

二十一日

飯縄様御縁日

神徳報謝百味飲食供

(九時大本堂)

○御本尊様の日々の御加護に感謝し、百味のご供物を捧げて供養する法要です。

皆様の御志納を受け付けておりますので、ご希望の方は大本堂までお申し出下さい。

尚、法要終了後に百味のお札を授与致します。

御志納金 一口三千円以上

毎日の お護摩奉修時間

(11月1日～4月14日まで)

午前 6時00分

〃 9時30分

〃 11時00分

午後 0時30分

〃 2時00分

〃 3時30分

ご講中・団体等御相談下さい。

高尾山の昆虫

カブトゴミムシダマシ

112

子供の頃見た昆虫図鑑の中に、カブトゴミムシダマシとクワガタゴミムシダマシというの載っていて、当時とても興味を持ったのを覚えています。



高尾にはサルノコシカケに集まるコブスジツノゴミムシダマシという一対のツノ状突起を持つ近似種が知られていますが、クワガタゴミムシダマシは記録されておりません。

そして今回取り上げたカブトゴミムシダマシの方は生息していることを知りました。

今まで出会わなかったのは本種がヒトクチャタケに付くからで、このキノコはマツの立ち枯れ等に見られ一見美味しい栗饅頭のように見えます。

名前の由来は一口で食べられるからと思いがちですが、成長すると下部に楕円形の穴が空くことからとされます。

高尾に多いイヌブナ等の広葉樹に付くサルノコシカケにはコブスジツノが、モミ等の針葉樹に見られるサルノコシカケにはニセコブスジツノが、そしてヒトクチャタケにはカブトゴミムシダマシと棲み分けていることに感心させられます。

そして本種には勇ましいツノ状突起はありませんが、前胸の辺りの雰囲気は兜を思わせ、カブトゴミムシダマシの名に相応しいと思います。

(撮影・文松島 孝)

インターネットでの 申し込み受付について

当山では、御護摩修行に参加できない方の為に、御護摩札の郵送を、お受けしております。

手紙、FAX等での申し込みを、お願いしておりますが、インターネットの「高尾山薬王院公式ホームページ」(左記参照)の「お護摩祈禱のご案内」から直接申し込みをすることも出来ますので、是非ご利用頂きますようお願い申し上げます。



高尾山薬王院ホームページ
<http://www.takaosan.or.jp>

発行所
東京都八王子市高尾町2177
大本山
高尾山薬王院
郵便番号 193-8686
電話(042)-661-1115(代)
FAX(042)-664-1199
発行人 菅谷 秀文
編集人 渋谷 秀芳
印刷 ヒラツカ印刷社
毎月1回1日発行
1部50円